

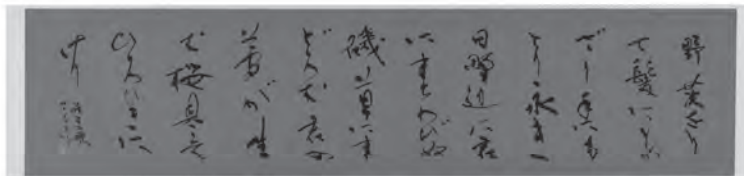


「里庵」での岸さちこさん

# Close up だて

## —「絆」と「縁」とともに 書の道を極めたい—

きし  
**岸 さちこさん**  
(南稀府町)



今回初入選した作品

「一昨年12月に母が亡くなり、筆を持つと二人三脚だった思い出が溢れて書道

**習** い事の経験はありますか。今や走り方教室やプログラミング教室などの習い事もあるそうですが、そんな中でも「書道」は身近な習い事の一つではないでしょうか。

今回、改組新第3回日本美術展覧会(日展)に挑戦6度目にして初入選した岸さちこさんは、お母さんが書道教室を開いていた縁で、書道が身近なものだったそう。

「母の佐藤紫香は『今この瞬間が大事、とにかく動いてごらん。そして人のためになることを』というのが口癖。だから、私も始めるからには納得するものを作りたい」と、今回入選した作品は約3カ月前から構想を練り、紙を選び、文字を選び、気持ちや体のコンディショニングが最も良く全てが集中した中で作成に臨み、完成しました。



奥の作品は2016市民総合文化祭に出品した作品。手前が初入選した作品の習作

をやめようとも思った。でも、周囲からの励ましのおかげで続けられ、その結果が入選に繋がった。母と周囲の人のおかげ」と柔らかな笑顔を浮かべます。

「今まで培った『絆』とこれから出会う人との『縁』を大事にしたい」と3年前にオープンしたカフェには、フランス語で「絆」を意味するリアン「里庵」と名づけた。「里庵」では以前、紫香さんとの二人展も開催したほか、今回の入選のお祝いとして仲間が集まったそう。

「これからも仲間と良い時間を過ごし、その中で『書』に集中できれば」ときらきらした瞳で話してくれた岸さん。2度目の入選に向けて、次の作品のイメージはできているとのこと。岸さんの挑戦はこれからも続きます。

### 表紙のはなし



11月4日、長和小学校で行われた「柿の木祭り」。平成3年から行われている伝統行事で、全校児童で干し柿を作ります。

今年も事前に収穫した柿の皮をむき、ひもで結んだ後、冷たい風が吹く中、屋外へ移動。「おいしくなあれ!」と願いを込めながら、ひとつずつ丁寧に干す作業が進められました。

### 楽 画 記

■市内ではマスクを着けている職員が増えてきています。皆さんは風邪の予防はされていますか。私は喉の痛みから始まるので違和感を感じたら、のど飴・はちみつ湯などをいただき、ともすると口が甘ったるくなるのでさっぱりしたものをとろうとみかんや果物をいただき、気分よく満腹に。風邪は食べ物と睡眠で治します。(と)

■まもなくウィンタースポーツのシーズンがやってきますね。実はスノーボードをやっているのですが、私の使っている板、高校生のときに購入し、約10年間使い続けています。「そろそろ買い替えたいな～」と思いつつも、多少の傷がありますが、まだまだ乗ることができ、愛着もあります。さて、どうしようか。(た)

■「広報だて」は今月で700号を迎えました。期間すると58年4ヵ月。その内の約7年、およそ80冊に携わった私。広報紙はインターネットでも見る事ができますが、私は紙質を感じながらページをめくる冊子の方が好きです。どちらの形にしても、この先も皆さんに必要とされ長く続く広報紙であってほしいと思います。(や)